



## 目指すは「金メダル」

— チーム全員の心をひとつにして戦うことで  
「勝つ」ことができる —

「オリンピックで『勝つ』ことはたやすいことではない。北京での『金メダル』は自分自身の目標であり、チームや応援してくださっている方々の悲願である。試合では自分を支えてくれる周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、持てる力全てを出し切ってプレーしたい」と語る。

小学生からソフトボールを始め、中学・高校・実業団とその才能は次第に頭角を現してきた。高校3年生の時は、チームのキャプテンとして部員全員の心をひとつにまとめ日々練習に励んだ。そして結果、全国総合体育大会（インターハイ）に臨み3位入賞を果たした。愛知県大会の決勝戦では全打席敬遠されるほど恐れられた存在でもあった。

**馬 淵 智子 選手**  
(星城高等学校 第35回生)

8年後のオリンピック対象競技として復活させるためにも、自分たちの全力プレーで日本の強さやソフトボールの面白さを世界中の人に伝えたい。

前回のアテネ大会に出場できなかったのは、「北京で『金メダル』をとるためだったと思う」と自信に満ち溢れた表情から北京オリンピックにかけるみなぎる闘志が伝わってくる。そんな馬淵選手にはチームの主砲としての大きな期待がかかっている。



[星城高等学校・全校集会での激励会]

### Profile

星城高等学校第35回生（1999年度卒）  
日立ソフトウェア勤務。

### 戦績

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 高校時代  | 全国選抜大会ベスト8・全国私学大会準優勝<br>全国高校総体ベスト4 |
| 2001年 | 世界選手権アジア予選出場                       |
| 2003年 | 日本リーグ本塁打王・ベストナイン                   |
| 2004年 | 世界選手権アジア予選出場・<br>本塁打王・ベストナイン       |
| 2005年 | 本塁打王・ベストナイン・打点王                    |
| 2006年 | 世界選手権準優勝                           |
| 2007年 | ドーハ・アジア大会優勝                        |
| 2008年 | 北京オリンピック出場代表                       |



4番打者としての存在感あふれる馬淵智子選手

# ツク出場決定!

卒業生が旋風を巻き起こす



## 一生懸命頑張れば道は開ける

—「自分ならできる」とイメージを持ち  
頑張ることで自分の夢や目標に近づける—

胴タックルからのフォール。誰もが予想していなかった96kg級決勝で北京オリンピック代表決定。2007年9月の世界選手権で5位に入賞し、日本にオリンピック出場枠をもたらした。日々全力を尽くして練習を重ね、12月の全日本選手権で優勝。日本にとって12年ぶりのオリンピック出場を自らの手で勝ち取った。

中学時代は柔道部に所属していたが、長兄に影響を受け、星城高等学校レスリング部へ入部。「高校時代の練習は厳しく、朝はグラウンドで約1時間走り、筋力トレーニング。授業後は、2時間30分のマット練習で汗を流しました。長兄を超えてやる!!という気持ちで一生懸命でした」と話す。



[高校時代の加藤賢三選手]



[星城高等学校・全校集会での激励会]



加藤 賢三 選手  
(星城高等学校 第34回生)

昨年のドーハ・アジア大会は「重量級は勝てないから強化の対象外」と派遣を見送られてしまったが、世界選手権でその悔しさを跳ね返した。

過去グレコローマンの90kg級以上のクラスでは日本人最高が6位。上半身しか攻撃できず、日本人に不利といわれる力勝負の種目で5位入賞という快挙を成し遂げられたのは、「低い評価を払拭したい」という意地と、「家族をオリンピックに連れて行きたい」という優しい気持ちがあったからだ。

「絶対にオリンピック出場権を取るんだと思い、日本一の練習をやってきた。後に続く後輩のためにも、重量級でも戦えるということを見せたい」と胸を張る27歳のレスラーの新たな挑戦が始まる。



全日本選手権男子グレコローマン  
96kg級決勝で、優勝した加藤賢三選手

### Profile

星城高等学校第34回生(1998年度卒)  
大東文化大学卒、自衛隊体育学校勤務。

### 戦績

高校時代 国体グレコローマン120kg級優勝  
1999年～ JOCジュニア連覇  
2000年 世界ジュニア選手権8位入賞  
2001年～ 全日本学生選手権97kg級連覇  
2003年 世界選手権初出場  
2005年 世界選手権出場  
2007年 世界選手権5位入賞  
2008年 北京オリンピック男子レスリング  
グレコローマン96kg級代表